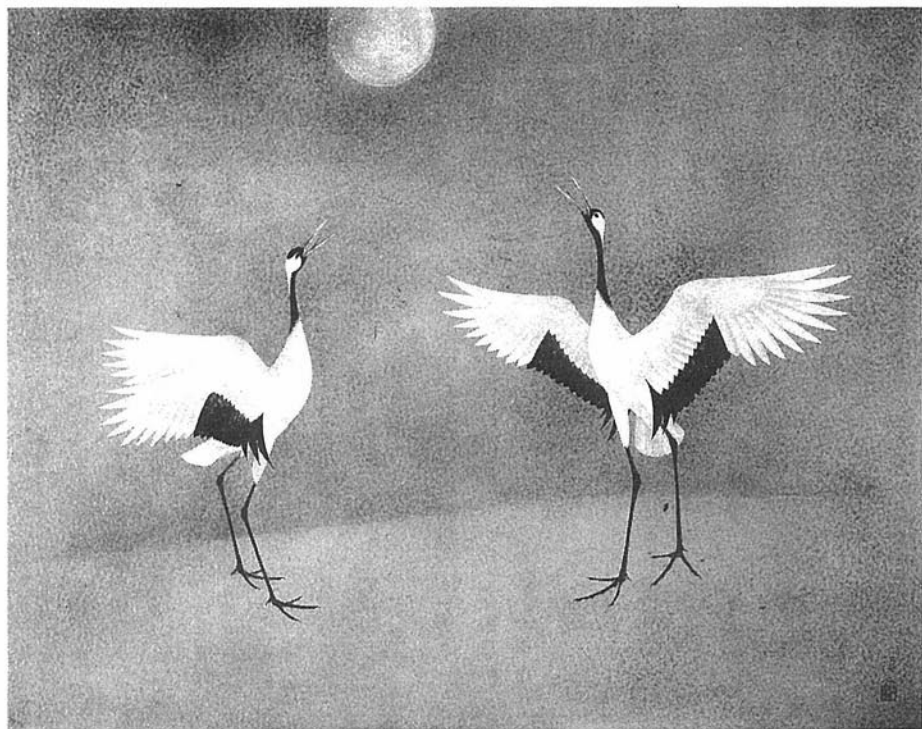


月刊 住職

特集 仏教界に直言する 新年号 1991



金花舎

お寺のクリーニング

二週間の作業で

二二〇万円

その洗淨効果



ホコリだらけの小屋組内部

本堂の高い欄間にこびりついた塵、天井裏に積もった砂埃、軒廻りに構う鳥の糞——一度はきれいにしなければならぬ、と思っはいるのだが、なかなか素人の手には負えない建物の汚れだ。暮れの大掃除のときも、結局はそのまんま、というお寺が多かったのではなからうか。

最近、そんな悩みを抱えたお寺を丸ごと掃除してしまおう、という専門業者が現れた。寺院版「ハウス・クリーニング」だ。さっそく、その実際を取材してみた。

天井裏も掃除

住宅地のなかにはぼつりぼつりと畑が残る神奈川県川崎市登戸の浄土真宗本願寺

派長念寺（小林泰善住職、四十歳）。昨年（平成二年）二月、八間×七間の本堂の天井裏小屋組から、格天井の鏡板、内陣、外陣の欄間や組物、そして向拝の彫刻に至るまで、専門の業者にすっかり清掃してもらった。

いわば、本堂の「丸洗い」。出て来た塵や埃が、大きなビニールのゴミ袋になんと十四個分もあったというから、ビックリだ。

「床とか手の届く範囲の柱や壁は、これまでも『お磨き』といって、報恩講などのときにきれいにしていました。しかし、格天井や欄間の彫刻などは我々ではどうにもならず、埃ですすけたまま。いずれ、なんとかしたいと思っていたんです。そんな折、本堂が市の文化財に指定され、それを機会に専門の業者に相談してみることにしたわけです」と小林住職。ただ、相談することにはしたものの、小林住職は内心、「不安で一杯だった」という。



向拝は高圧水洗浄機で汚れを洗い落とす



天井裏の塵や埃は、真空掃除機や専用刷毛で取り除かれていく

というのも、長念寺の本堂は、格天井の鏡板や壁面、柱の一部に彩色が施され、また欄間の彫刻には金箔が押されているところがある。いずれも老朽化が著しい。下手にいじられたら、絵の具や金箔が剥げて、掃除どころか、逆に台なしになってしまうのではないかと気遣われたか

らだ。しかし、相談した業者は非常に研究熱心で、その説明も、住職の心配を十分解消してくれるものだったという。説明の内容というのは作業の内容そのものであり、後で詳しく触れることにするが、話し合いの結果、目に見える部分ばかりで

なく、天井裏も掃除した方がいいということになった。

「このあたりは関東ローム層で、強い風が吹くと、本堂の中がザラザラになってしまうほどなんです。そうした砂埃が天井裏にも巻き上げられていて、ちよつとした風でも、反った鏡板の隙間から下に落ちて来ていました。ですから、天井裏から掃除しないことには、どうにもならないと……」（小林住職）

丹念な手作業

清掃の対象は、大きく分けて次の四つの作業区域と各構造物とされた。

- ① 天井裏清掃 柱、梁、天井回縁・格縁、鏡板。
- ② 内・外陣、回廊立ち上がりⅡ高所清掃 天井回縁・格縁、鏡板、丸桁長押・貫、梁、柱、採色、欄間（金箔、漆塗、無垢）、壁（漆喰白壁、採色）、組物出組斗拱、彫刻。
- ③ 内・外陣、回廊床清掃 畳、木床。
- ④ 向拝清掃 柱、海老虹梁、組物。

*ハウス・クリーニング 個々の関連業者によるサービスとして行われていた絨毯洗濯、風呂など水回りの手入れ、換気扇や台所の掃除などを組み合わせてシステム化したサービス業。→

お寺のクリーニング

彫刻。

作業はすべて手作業である。

建物内部については、まず真空掃除機と専用刷毛・筆・不織布を使って、組物や彫刻など入り組んだところも隅々まで丹念に塵や埃を取り除いていく。天井裏も同じようにして、鏡板や小屋組の柱に堆積した砂埃などを除去するが、その際、鳥の糞や猫・鼠の糞なども出てくることしばしばあるという。



「彫刻がくっさりした」と語る長念寺の小林泰善住職



金箔は薄めた洗剤を噴霧して慎重に拭く



上が清掃前の金箔、下が清掃後の金箔

さらに、欄間の金箔部分には、微温湯

で薄めた弱アルカリ洗剤を噴霧したあと薄布で拭くなど、それぞれ部材に適した方法で磨きかけられる。彩色が施されている壁などは、浮き上がった絵の具が剥げないように、専用の筆を使って慎重に塵が除かれた。

建物外部の向拝については、真空掃除機と専用刷毛で除塵したあと、高圧水洗浄機で水洗いされた。

64

期間は四人の作業員が当たって、約二週間。見積価格は約二百二十万円とのことだった(次ページの標準価格表参照)。

「掃除が終わったら、それまで埃でばやけた感じだった欄間などの彫刻がくつきり見えるようになったし、金箔も輝きを取り戻しました。屋根裏の掃除では、格天井の鏡板に虫が入っているのを発見してもらい、助かりました」と小林住職は満足そう。

この清掃作業を請け負ったのは、東京都大田区南蒲田にある株式会社日本チツタ。ビル・メンテナンス(建物の維持・管理)の技術開発に二十年の経験をもつ会沢伸恵社長が、寺院建築物の清掃をメイン業務として、一昨年(平成元年)七月に設立したばかりの新会

*小屋組 建物の骨組みのうち、屋根を構成するもの。屋根の形状を作ることはもちろん、屋根と天井の自重、屋根面にかかる雪積荷重、風荷重などを壁や柱へ伝達する重要な役割をもつ。

社だ。

「木造本堂の清掃は、百年作業を繰り返しても、部材に悪影響を与えないような方法でなければなりません。ですから、結局のところ、基本は丹念に埃を払うことに尽きるわけです」と会沢社長は言う。

実際、同社の作業には、金属部分の清



欄間の彫刻などの細部は、真空掃除機や専用刷毛・筆などを使って、丹念に塵や埃を払っていく

掃などを除いて、ほとんど薬品は使われない。もちろん、一時流行った化学的なあく抜き剤で、古くなった木を白くするような方法とは無縁だ。ただ掃除機と刷毛が主役の、地味な手作業の繰り返しである。

お寺のカルテ

ところで、見える部分の清掃は当然として、高い費用をかけて天井裏まで清掃する必要性は、どこにあるのだろうか。

昨年（平成二年）七月、開創七百年の記念事業として、天井裏の小屋組を徹底的に掃除したのは東京都大田区山王の日蓮宗善慶寺だ。

副住職の野慈秀師（三十九歳）がこう話す。

「現在の本堂は昭和五年に建立されたものです。木造は手入れさえきちんとならば、最低二百年はもつといわれていますから、この際、見えない部分まできちんとチェックしておこうと思ったわけで

表 寺院清掃の標準価格表（株式会社日本チッタ調べ）

●大掃除（七間四面の本堂の場合）

	木造	鉄筋コンクリート造
小屋組(天井裏)	150万円	
堂内	70万円	80万円
床下	30万円(虫害等調査5万円)	

●年間契約による清掃

五間四面の本堂	40万円～100万円
七間四面の本堂	60万円～150万円
九間四面の本堂	80万円～170万円

〈清掃内容〉消毒、照明器具清掃、雨樋清掃、窓ガラス清掃、外周部清掃、床清掃、立体面清掃、向拝等清掃、縁の下清掃、便所清掃、その他の定期的作業。

す。お寺の記念事業としては、非常に地味な形ですが、木造本堂は檀家の心にくもりを与える大切な布教のポイントだという考えがありましたので、その保存の役に立ったのではないかと、自負しています」

現在、都市部のお寺では防災上、木造本堂の建築が認められないケースが増え

*関東ローム層 関東地方に広く発達する赤土層。山手のような洪積台地、段丘や丘陵を覆う。箱根・富士御山の火山灰が堆積したもの。風化を受けて粘土質になり、鉄分の酸化で赤色に。

お寺のクリーニング

ている。それだけに、既存の木造本堂はなんとが長持ちさせたいところなのだ。

日本チッタの会沢社長の話によると、天井裏の清掃時には、小屋組の柱や梁などの虫害や腐りなども徹底的に調査するという。それには、どうしても一度、塵や埃をきれいに払わなければならない。払わないで調査しても、そうした問題個所は二割程度しか発見できないというのである。

目に見えない天井裏の清掃は、単に塵や埃の除去だけでなく、虫害や腐りを早



素人には難しい高所の作業

期発見するためにも、是非必要というわけだ。

実際、善慶寺では小屋組の清掃で、ケヤキの丸柱の割れや虫食いなどがみつかっている。

同社では、清掃作業が終了したあと、必要に応じて依頼者（お寺）に「作業報告書」を提出しているが、そのなかで、問題のある箇所について、具体的な指摘もしており、今後の管理計画を立てる上で、いわば「お寺のカルテ」として利用できるといふ。

ちなみに、善慶寺の「作業報告書」の一部を抜粋してみよう。

《松材の梁は、皮が残っている部分を中心に虫食いの跡が広範囲にみられた。虫食いの状態については写真を参照されたい。目視点検及び打音による調査では、虫食いの深さはなく、現在進行はほとんどみられないため、特別な対応は必要ないものと思われる。今後

定期的（三年に一回程度）な調査で十分であろう。丸柱（樫）の上部、梁と組んであるところに割れが生じている。割れの形は樫に力がかかったとき生じる三角形の典型的な形。丸柱と横梁をとおして組んである大梁と投掛梁に、大梁が下がって生じたものと思われる隙間が約二センチ程度あった。因果関係は必ずしもはっきりしないが、何らかの原因で大梁が

下がり、横梁を下げ、その力が丸柱に伝わり、材の割れを発生させたのではないかと思われる。写真及び次頁の図を参照されたいが、今後、時々観察が必要である。》

少し長くなったが、こんな具合である。「たかが掃除」などとはいえない内容なのだ。

会沢社長は、「外から見ても、おかしいと思うようだったら、もう手遅れ。早期発見が、木造本堂の寿命を延ばす最大のポイントです。そのためにも、見えない部分の掃除も怠りなく」と強調する。